

◇ 同好会「ハイキング」 6月19日(月)曇り 参加者6名  
～あじさいを見ながら山登りを楽しみました～

越生駅を10時過ぎにバスで出発し20分程走り麦原入口で下車。今回は新入会員を含め6人で出発。荒川水系越辺川支流の「麦原川」に沿った「あじさい街道」を「あじさい山公園」までハイキング。約3Kmにわたり清流のせせらぎを聞きながら、街道沿いに植えられた約2,000株のあじさいがちょうど満開で眺めながら歩くこと1時間。途中「あじさい祭」ののぼり旗が道の角々に立っており、期待しながら街道終点のあじさい山公園に到着。ところが、あじさいはだいぶ以前に病気にかかり全滅してしまい現在再生中との事ですが、なかなか元の状態には戻らないようです。鹿除けのネットも張られあじさいの植栽もほとんど進んでいない様子。傾斜のきつい上り階段を40分程、数回の休みを取りやっとあじさい山山頂見晴台へ。



そこにもあじさいの木は一本も無く、あじさい祭はどこへやら！うらぎられた気分だ！ここもあじさいの病気で全部伐採したと見られる。取敢えず食事を済ませ12時40分道を変えて下山。



越生町上谷の大楠

「大楠」が一山超えた所に有るのでそこへ行く事にした。長い上り坂が続き体力が消耗し、若者3人と年寄り3人と別れ離れになり、電話しても山の中で電波が繋がらず連絡が取れなくなり、年寄り3人は諦め途中から梅林入口バス停へ、若者3人は楠見物へ。この大楠は天然記念物とされ、緑の国勢調査で全国16位・県内第1位に認定され、幹回り15m・樹高30m・樹齢は1千年とも言われている。

木の側には行けず、側に橋が作られており橋の上から楠を眺めるようになっている。楠全体をカメラで撮ることが出来ない程の大樹である。梅林入口バス停で6人全員がそろいましたが、田舎のバスで1日6本しかなく40分程待ち3時50分の最後のバスで越生駅へ。越生駅でJRと東上線の電車がホームに入っており流れ解散となった。

<報告：松野 久男>